

## 令和7年度 上矢部高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	法令等を遵守する意識の向上を図り、公務外非行等を防止する。	○職員行動指針の周知徹底を行い、事故防止への取り組みを改めて確認した。(4月)(8月) ○各グループ、教科、学年での話し合いや連絡を重ねることで、意識向上に努めた。(通年)
セクハラ・わいせつ行為の防止	人権に配慮しセクハラ・わいせつ行為を防止する。	○職員啓発資料等を活用し、教職員全員を対象に職場研修を実施した。(6月)(1月) ○アサーティブトレーニング(非攻撃的自己主張、対人関係の中の問題解決能力を高める)の講義と実践演習を実施し、人権を意識した円滑なコミュニケーションについて理解を深めた。(8月)
体罰・不適切指導の防止	生徒の人権を尊重した態度で指導にあたり、体罰や不適切指導の防止を図る。	○部活動インストラクターと年度当初に面談を実施し、体罰防止、個人情報管理、部活動の主旨について確認した。(4月) ○職員啓発資料等を活用し、教職員全員を対象とした職場研修を実施した。(7月) ○生徒・保護者に誤解を与えないよう、職員の日ごろの発言に対する注意喚起を行った。(随時)
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いにかかる事故防止	成績処理、調査書作成、定期試験、入学者選抜における事故防止を図る。	○進路関係書類の管理・発行に際し、複数の職員による確実な点検を徹底した。(通年) ○試験実施後の答案管理や成績処理における点検体制を改めて確認し、徹底した。(1月) ○入学者選抜におけるシステム運用や資料の作成・管理を、マニュアルを改定して適切に実施した。(12~3月)
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報の流出を未然に防止する。また、公文書の取り扱いには十分な配慮・チェックを行い、事故の起こらない体制を維持する。	○職員啓発資料等を活用し、教職員全員を対象とした職場研修を実施した。(9月) ○「個人情報対策重要度分類表」に基づき、個人情報の適切な管理に努めた。(通年) ○個人情報持ち出しに関するルールの遵守を徹底した。(5月及び随時)
会計事務等の適正執行	私費を適正かつ公正に執行することにより、事故を未然に防止する。備品の現物照合を確実に行う。	○「私費会計事務処理の手引」に基づき、私費の適正な処理のポイントを職員会議で確認し、徹底を図った。(4月) ○財務事務調査での指摘事項を踏まえ、教職員全員に適切な会計処理を求める職場研修を実施した。(10月) ○部活動費については、各部ごとの通帳管理を徹底し、適正な処理に努めた。(通年)
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守の徹底により交通事故を防止する。	○職員啓発資料等を活用し、教職員全員を対象とした事故防止研修を実施した。(11月) ○交通事故については、軽微なものも速やかに報告するよう職員への意識喚起を行った。(5月)

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

昨年度から引き続き、不祥事ゼロプログラムに基づき、毎月「不祥事防止会議」や事故防止研修会を実施し、職員の当事者意識を高める取組を行ってきた。具体的には、定期テストの保管・返却方法、成績処理の点検体制、私費会計処理において凡事徹底を図った。また、人権意識を深める研修を通じて、心理的安全性を感じられる学校環境を構築する重要性を再認識し、職員個々の実践に結びつけるといった成果を上げた。

これらの成果を基盤に、令和8年度も不祥事防止を推進する。職員全員で不祥事ゼロを確実に達成し、人権教育を軸としたインクルーシブ教育をより一層推進することで、生徒が安心して過ごせる学びの環境をつくり、持続可能なものとしていきたい。